



【学校教育目標】 自分らしさが輝く児童の育成

【水窪中学校区でめざす子どもの姿】 将来どこにあって、自分の力でたくましく しなやかに生き抜く子供

【水窪中学校区 キャリア教育】 み…みんなと活動する子 さ…最後まで追究する子 く…くじけず、挑戦する子 ぼ…ぼく、私も自分を磨く子

実りの秋。後期スタート！

2学期も早いもので、折り返し地点。後期に入りました。秋らしい過ごしやすい季節になり、各学年、授業や体験活動において、学びが深まっています。

来週には「一輪車発表会」、来月には6年生の「修学旅行」、12月には「小中持久走大会」と大きな行事も続いていきます。子供たち一人一人が目当てをもって取り組み、成長できるように、支援していきます。

10月4日(火)朝礼 『元気があれば何でもできる！』

校長の話

10月に入り、朝夕の冷え込みが感じられるようになりました。秋ですねえ。日中も暑すぎず、寒すぎず、過ごしやすくなってきて、まさに、勉強の秋、運動の秋、読書の秋、食欲の秋、真ただ中です。特に、運動、スポーツの秋。3年生以上は、明日の8部会陸上記録会に向けて、頑張ってきました。陸上記録会は3年ぶりの開催です。他の学校の友達と競い合う中で、自分の最高記録を目指してください。もう一つ、全校みんなで一輪車、頑張っていますね。一輪車リーダーさん、今、完成度は何パーセントぐらいですか。難しい技、できない技に挑戦するからこそ、やりがいがあります。できない技をできるように、できる技はもっと美しくできるように…。そのためには、一人一人が練習して技能を高めること、みんなで心を合わせて頑張ることが大事です。「く」くじけず挑戦する子、「み」みんなで活動する子。37人で頑張りましょう。勉強の秋も頑張てね。

さて、先日、私にとって一人のヒーローが亡くなりました。アントニオ猪木さんです。

猪木さんはプロレスラーです。体を張って、相手と戦うスポーツ、格闘技の選手です。猪木選手はプロレスラーとしては決して体が大きい方ではありませんが、抜群の運動神経と、しなやかな体、そして「燃える闘魂」と言って、戦う気持ちを前面に出して、大きな体の選手に向かっていきました。そんな姿にたくさんの方が感動し、たくさんの方の心をひきつけました。私もそのうちの一人、小学校時代に猪木選手の戦いぶりを見て、テレビの前で熱くなりました。引退した後は、国会議員としても活躍されました。

そんな猪木選手がいつも使っていた言葉、話をする前の決まり文句に、こんな言葉があります。

「元気ですか?! 元気があれば何でもできる。」

今、みなさんは元気ですか。ところで「元気」って何でしょう。辞書にはこう書かれています。

① 体の調子がよく、健康であること。 ② 心身の活動の源となる力。

みんな、①の意味で使っていることが多いよね。

でも、もう一つ、大切な意味があるんです。②の心や体が動くときの力、エネルギー、パワーということです。言い換えると、やる気、がんばる気持ち、意欲、チャレンジ精神…ってことかな。この元気があれば、どんなことでもできる、元気さえあれば、苦しいことも乗り越えられる! そんなことを猪木選手は、いつもみんなに伝えていたんです。

私は、この元気は、自分だけでなく、他の人にも伝わる、友達や周りも元気にすると思います。元気な人がいると周りも明るくなりますし、友達が元気に頑張っているのをそばで見ると、自分も元気をもらった感じがして頑張れます。

だから私は、毎日、元気でありたいと思っています。水窪小も元気な子ばかり、元気な先生ばかりの元気な学校にしていきたいと思います。

では最後に、「**1. 2. 3. だあっ!**」

10月5日(水)部会陸上大会

船明ダム運動公園で部会陸上大会が行われました。3～6年生が、自分の目標記録更新に向け、練習の成果を発揮し、全力で取り組みました。



赤白対抗リレー & 全校一輪車発表会

赤白対抗リレー

全校一輪車発表会

終了後、6年生修学旅行説明会を行います

